

平成13年度 相模原市立博物館 年報

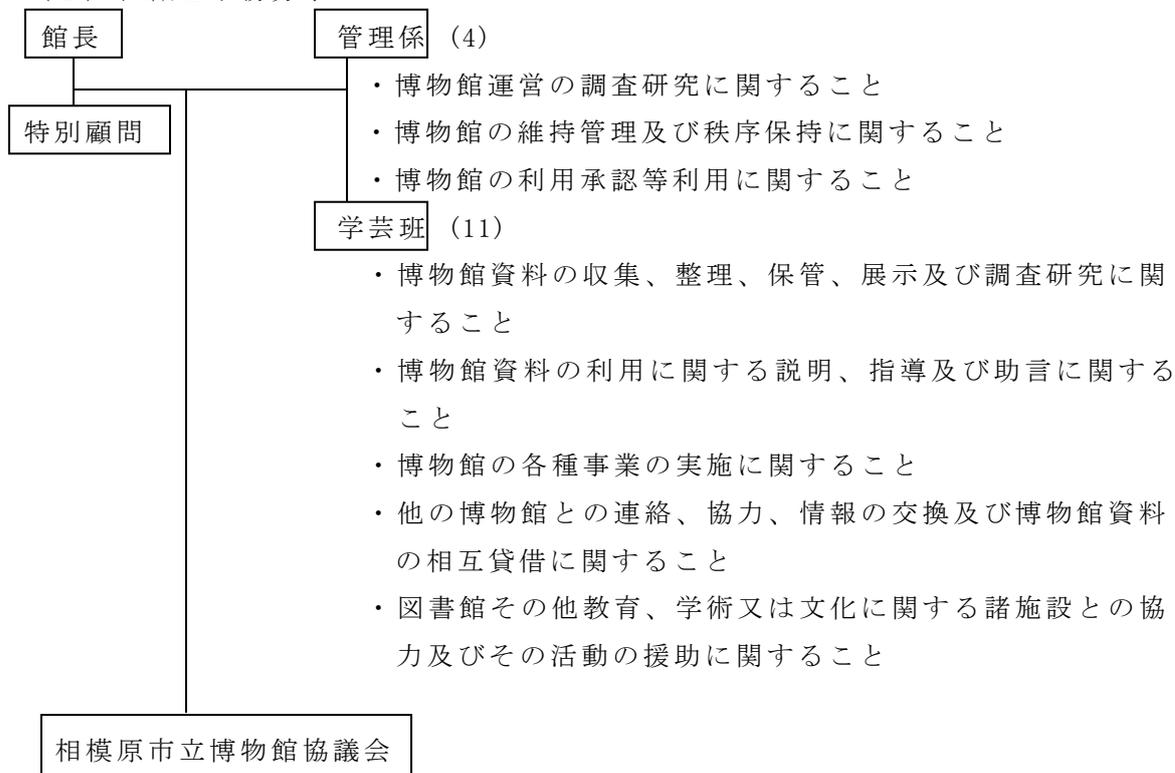


平成14年4月1日
相模原市立博物館

I 管理運営

1 組織及び職員

(1) 組織と事務分掌



(2) 職員(平成14年3月31日現在)

特別顧問(非常勤)	神崎 彰利
館長 参事(兼)館長	安立 武晴
管理係 副主幹(兼)管理係長	成瀬 正行
主任	鉢村 敏雄
主任	志田久仁子
主事	久万 真彦
学芸班 副主幹(学芸員)	杉本 芳秋 (天文担当)
(学芸班担当)	
指導主事	遠山 正紀 (地理担当)
指導主事	杉崎 久子 (天文担当)
主査(学芸員)	守屋 博文 (動物担当)
主査(学芸員)	加藤 隆志 (民俗担当)

主 査（学芸員）	梶浦 唯史	（天文担当）
主 任（学芸員）	木村 衡	（考古担当）
主 任	福田 豊	（情報担当）
学芸員	秋山 幸也	（植物担当）
主 事（学芸員）	草薙 由美	（歴史担当）
主 事（学芸員）	金井 憲一	（地質担当）

*なお、受付案内業務は（財）相模原市都市整備公社に委託し9名が配属され、プラネタリウム投影業務の一部は（株）東急コミュニティーに委託し4名が配属されている。

2 博物館協議会

- (1)趣 旨 博物館法に基づき、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関。
- (2)委員構成 3名（学校教育）、2名（社会教育）、5名（学識経験者）の計10名
- (3)任 期 2年（平成13年11月20日～平成15年11月19日）
- (4)活動状況 13年度は4回開催され、9月28日付け「資料の収集と保存のあり方」について館長に提言が出された。

3 施 設

(1) 施設概要

- ・敷地面積 9,999.48㎡
- ・構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄骨造
- ・規模 地下1階・地上3階建て
- ・建築面積 5,081.03㎡
- ・延床面積 9,510.24㎡

(2) 施設管理

- ・施設の設備管理、警備、清掃業務は外部委託している。
- ・消防訓練 5月8日（火・臨時休館日）、10月16日（火・臨時休館日）、1月25日（金）

4 予 算

平成13年度予算

（単位：千円）

款項目	科目名	本年度予算額	前年度予算額	比 較	財源内訳
502040	博物館費	340,327	355,916	5,858	特定財源 17,448 （特財内訳） その他 17,448 一般財源 322,879

節		説 明		
区 分	金 額			
1報酬	4,029	博物館の運営及び維持管理に要する経費		
8報償費	12,658	経費内訳	13年度	12年度
9旅費	1,196	1 博物館協議会経費	450	518
11需用費	87,006	2 施設運営費	133,861	129,040
12役務費	1,016	(1) 資料収集保存経費	8,751	9,112
13委託料	191,124	(2) 資料調査研究経費	7,649	4,994
14使用料及び賃借料	39,297	(3) 展示・教育普及事業経費	30,050	28,720
18備品購入費	3,836	(4) プラネタリウム事業経費	83,136	81,955
19負担金、補助及び 交付金	138	(5) その他運営費	4,275	4,259
27公課費	27	3 施設維持管理費	200,331	199,348
		4 施設維持補修費	5,000	5,000
		5 一般事務費	685	563
		合 計	340,327	334,469

II 教育普及

1 入館者数

(1) 平成13年4月1日～平成14年3月31日

総計 132,776人

(2) 各月ごとの詳細は、次のとおり。

2 特別展・企画展・収蔵品展等

(1) 企画展「みんなで調べたセミのぬけがら」

- ①内 容 市民参加型の「セミのぬけがら調査」の成果や各種セミの標本などを紹介。
- ②期 間 平成13年4月28日(土)～6月24日(日)
- ③観覧料 無料
- ④入場者 11,430人
- ⑤出版物 ポスター(B2)500枚、チラシ(A4両面)5,000枚、リーフレット(A3二つ折り)10,000枚
- ⑥関連事業 5月26日(土)、記念講演会「セミの世界をたずねて」、
講師：橋本洽二氏(日本セミの会代表)、参加者：50人
6月10日(日)、セミのぬけがら調査説明会
参加者：57人

(2) 特別展「星の測量～角度をはかり、位置をもとめる～」

- ①内 容 江戸時代からの天体観測や測量道具、伊能忠敬実測中図などを紹介。
- ②期 間 平成13年7月20日(金・祝)～9月2日(日)
- ③観覧料 大人300円・中学生以下無料
- ④入場者 3,468人(うち有料大人990人)
- ⑤出版物 図録1,000部、ポスター(B2)500枚、チラシ(A4両面)10,000枚
- ⑥関連事業 7月29日(日)、ワークショップ「星空模型(天球儀)をつくろう」、
参加者：37人
8月5日(日)、記念フォーラム「宇宙を語る」、
Ⅰ講演「眼球の中の宇宙」 杉浦康平氏(神戸芸術工科大学教授)
Ⅱ朗読「ラジオスター・レストラン」、寮美千子氏(文学者)、
明石隼汰氏(キーボード)
Ⅲ講演「宇宙空間を使う電波観測～科学衛星「はるか」が観る宇宙」、
平林久氏(宇宙科学研究所教授)、参加者：83人
8月19日(日)、記念講演「はるかな星空へのステップ～星までの距離～」、
講師：磯部瑋三氏(国立天文台助教授)、参加者：66人

(3) ロボフェスタ神奈川2001「エネルギー体験館」

- ①内 容 みよう、ふれよう電気の世界をテーマに電気の性質や発電の仕組みを紹介。
- ②期 間 平成13年10月6日(土)～10月14日(日)
- ③観覧料 無料
- ④入場者 20,172人
- ⑤関連事業 10月13日(土)記念講演「ロボットという便利な道具」、
講師：馬淵清資氏(北里大学教授)、参加者：63人
10月14日(日)、記念講演「小惑星探査ロボット」、
講師：古光徹雄氏(宇宙科学研究所助手)、参加者：61人

※本事業の主催は、資源エネルギー庁／関東経済産業局／相模原市

(4) 特別展「“道”再発見～道の役割とその移りかわり～」

- ①内 容 道と文化をテーマに「東海道宿駅制度400年記念」として絵図・地図や古文書などを紹介。
- ②期 間 平成13年10月27日(土)～12月2日(日)
- ③観覧料 大人 300円・小中学生 100円
- ④入場者 2,937人(うち有料大人992人・小人46人)
- ⑤出版物 図録 1,000部、ポスター(B2) 500枚、チラシ(A4両面)10,000部
- ⑥関連事業 11月3日(土・祝)、講演「近世の道とその役割」、
講師：神崎彰利(当館館長)、参加者：87人
11月18日(日)、講演「鉄道の敷設と地域社会」、
講師：老川慶喜氏(立教大学教授)、参加者：79人
11月23日(日)、解説「館長が語る“諸街折絵図”」、
講師：神崎彰利(当館特別顧問)、参加者：54人
11月4日(日)・23日(土)「ウオークラリー～市内の道や坂を歩く～」、
参加者：延べ33人

(5) 第5回收蔵品展「桐生亮コレクションー虫や花に魅せられてー」

- ①内 容 故桐生亮氏のコウチュウ標本などの寄贈資料や採集道具などを紹介。
- ②期 間 平成13年12月15日(土)～平成14年1月14日(月)
- ③観覧料 無料
- ④入場者 3,756人
- ⑤出版物 ポスター(A4両面) 500枚、チラシ10,000部

(6) 企画展「昔の暮らし 昔のあそび」

- ①内 容 1960年代の「家庭電化」の普及と子どもの遊び、まちの景観などの変遷を学校の授業に活用できる形で資料や写真で紹介。
- ②期 間 平成14年1月26日(土)～平成14年3月24日(日)
- ③観覧料 無料
- ④入場者 15,884人
- ⑤出版物 ポスター(B2) 500枚、チラシ(A4両面)10,000部
- ⑥関連事業 ・実演「昔のあそび」
(I) 2月10日(日)、「『街頭紙芝居』の口演」、
講師：安野侑志氏(大阪・紙芝居コミュニティーセンター)、参加者：265人
(II) 3月3日(日)、「『お手玉』～作って・歌って・遊ぼう～」、
講師：箭内クラ子氏(日本のお手玉の会)ほか、参加者：68人
・体験「昔のあそび」
(I) 2月17日(日)、3月10日(日)「『けん玉』で遊ぼう」、
講師：田上文昭(日本けん玉協会)ほか、参加者：延べ174人

(Ⅱ) 2月3日(日)・3月17日(日)「『お手玉』で遊ぼう」、
講師：箭内クラ子氏(日本のお手玉の会)ほか、参加者：延べ211人

3 講座・観望会・その他の事業

I 講座

※講師は、当館館長及び学芸員が行うが、特に外部に依頼したものについては、項目④と付記した。

(1) 民俗講座「フィールドワーク～村を歩く～」(※11年度から継続)

- ①内 容 地域の歴史や文化を実際に現地を歩きながら学ぶ。
- ②実施日 平成13年4月1日(日)から平成13年12月1日(土)まで全7回
- ③参加人数 延べ 225人

(2) 植物講座「さがみはらタンポポ調査」

- ①内 容 市民参加による市域のタンポポ調査を通じ土地利用と植生の関係を学ぶ。
- ②実施日 平成13年4月21日(土)から平成13年7月1日(日)まで全5回
- ③参加人数 延べ 166人
- ④外部講師 浜口哲一氏(平塚市博物館学芸員)

(3) 動物講座「セミのぬけがら調査」

- ①内 容 市民参加による市域のセミのぬけがら調査を通じ身近な自然環境を学ぶ。
- ②実施日 平成13年6月10日(日)から平成13年9月2日(日)まで全4回
- ③参加人数 延べ 163人(人数の一部前掲)

(4) 博物館連続講演会「地域をみる眼」

- ①内 容 自然系担当学芸員の研究成果の発表と外部講師による概論。
- ②実施日 平成13年6月24日(日)から平成14年1月7日(日)まで全8回
- ③参加人数 延べ 491人
- ④外部講師 町田洋氏(東京都立大学名誉教授)／第1回
吉崎真司氏(武蔵工業大学助教授)／第2回
田口正男氏(県立弥栄東高等学校教諭)／第3回
的川泰宣氏(宇宙科学研究所教授)／第4回

(5) 古文書解読講座「古文書からわかること」

- ①内 容 古文書を解読する際のいくつかの切り口を紹介し、古文書に親しむ機会を提供。
- ②実施日 平成13年6月30日(土)から平成13年8月25日(土)まで全3回
- ③参加人数 延べ 344人
- ④外部講師 長田かな子氏(元市史料調査専門員)／第2回

(6) 植物学講座「花の観察と植物画」

- ①内 容 「描く」という行為をとおして植物の体の仕組みなどを学び、植物画の初歩的な手法を修得する。
- ②実施日 平成13年9月15日(土・祝)から9月16日(日)まで全2回
- ③参加人数 延べ 46人
- ④外部講師 豊田路子氏(植物画家)

(7) 地理講座「変貌する橋本～商業開発の続く相模原～」

- ①内 容 地図や資料の見方を学ぶとともに実際に現地を歩き「橋本」の現状を知る。
- ②実施日 平成13年11月10日(土)から平成13年12月8日(土)まで全4回
- ③参加人数 延べ 56人
- ④外部講師 高野稔氏(住商アーバン開発K. K) / 第2回

(8) 子どものための天文講座

- ①内 容 天文の基礎知識から最先端の宇宙探査の講義と工作や観望をつうじ天文に関する興味・関心を深める。
- ②実施日 平成13年11月10日(土)から平成14年1月12日(土)まで全5回
- ③参加人数 延べ 181人
- ④外部講師 福田茂氏(市教育委員会指導課) / 第1回
今村剛氏(宇宙科学研究所助手) / 第2回
矢野創氏(宇宙科学研究所助手) / 第3回
中川貴雄氏(宇宙科学研究所教授) / 第4回
満田和久氏(宇宙科学研究所教授) / 第5回

(9) 民俗講座「大山道を歩く」

- ①内 容 実際に橋本から大山道を歩き、その役割や道沿いの社寺・石仏から県央部の歴史・文化についても学ぶ。
- ②実施日 平成14年2月16日(土)から(平成14年4月27日(土)まで)全7回
- ③参加人数 延べ 124人(平成13年度分)

(10) 地質学講座「鉱物を学ぶー水晶・石英ー」

- ①内 容 鉱物の基礎的な結晶学や電子産業での役割などを学ぶ。
- ②実施日 平成14年2月10日(日)から平成14年3月3日(日)まで全4回
- ③参加人数 延べ 150人
- ④外部講師 岩崎秀夫氏(理学博士) / 第1回・第2回
岩崎文子氏(工学博士) / 第2回
河田清雄氏(理学博士) / 第4回

II 観望会

(1) 星空観望会

- ①内 容 季節に応じた天体の観測により天文知識の普及を図る。
- ②実施日 平成13年4月6日から平成14年3月15日まで毎週金曜日（全30回）
- ③参加人数 延べ 910人 ※雨天・曇天時等中止

(2) しし座流星群直前のつどい「あなたの街で流れ星を見よう」

- ①内 容 観望方法やポイントの説明と質疑応答などから流れ星の科学を学ぶ。
- ②実施日 平成13年11月3日(土・祝)
- ③参加人数 126人
- ④外部講師 矢野創氏（宇宙科学研究所助手）

III その他の事業

(1) 糸取り・機織り実演会～糸取りや機織りを体験しよう～

- ①内 容 糸取り・機織りの方法を見学するとともに実際に体験する。
- ②実施日 平成13年7月20日(金・祝)・8月4日(土)
- ③参加人数 延べ 300人
- ④外部講師 大谷 タケ氏（市内在住）

(2) 夏休み子ども学習相談

- ①内 容 小・中学生を対象に夏の自由研究等のアドバイスをする。
- ②実施日 平成13年7月20日(金・祝)から8月31日(金)まで
- ③参加人数 延べ 67人

(3) 夏休み親子天文教室

- ①内 容 親子で月球儀を手作りし、望遠鏡で実際に月を観察する。
- ②実施日 平成13年7月28(土)・8月1日(土)
- ③参加人数 延べ 126人

(4) 酒まんじゅう作り教室

- ①内 容 地域の伝統食である、酒まんじゅうの作り方について学ぶ。
- ②実施日 平成13年8月5日(日)・8日(水)
- ③参加人数 延べ 70人
- ④外部講師 田辺 波枝氏（市内在住）、金子 キヨ氏（市内在住）

(5) 夏休み親子石器作り教室

- ①内 容 原始時代と現代の「切る道具」の違いを体験的に学習する。
- ②実施日 平成13年8月11(土)
- ③参加人数 42人
- ④外部講師 御堂島正氏（県教育委員会）

(6) 考古学講演会

- ①内 容 第1回「神奈川の古代道」
第2回「相模野の旧石器時代」
- ②実施日 平成14年2月11(月・祝)／第1回、3月31日(日)／第2回
- ③参加人数 102人／第1回、82人／第2回
- ④外部講師 荒井秀規氏(藤沢市教育委員会)／第1回
諏訪間順氏(小田原市教育委員会)／第2回

(7) 天文講演会

- ①内 容 「地球に異常接近する天体をさがせ」
- ②実施日 平成14年2月24(日)
- ③参加人数 76人
- ④外部講師 吉川真氏(宇宙科学研究所助教授)

4 プラネタリウム・全天周映画

(1) 13年度観覧者合計 59,062人

※投影内容別は以下記。月別の観覧者については3ページ参照。

(2) 一般投影(プラネタリウム)

ア 内 容 解説員による季節の星空説明と企画番組で構成(所要約50分)

番組名	投 影 期 間
小惑星	(平成13年3月10日(土))～6月17日(日)
星までの距離	平成13年6月23日(土)～9月2日(日)
星と古代文明	平成13年9月8日(土)～12月2日(日)
オーロラを見に行こう	平成13年12月8日(土)～14年3月3日(日)
星からの地図づくり	平成14年3月9日(土)～(6月16日(日))

イ 投影時間 平日…午後3時50分

土・日・祝日・小中学校長期休み等…午後1時30分と3時50分

ウ 観覧者 20,169人

(3) 全天周映画

ア 内 容 大型フィルム使用の映画作品を上映(所要約45分)

番組名	上 映 期 間
宇宙に生きる	(平成12年10月21日(土))～13年4月22日(日)
ドルフィン	平成13年4月25日(水)～10月3日(水)
L5	平成13年10月6日(土)～10月14日(日)
グランドキャニオン	平成13年10月20日(土)～(4月21日(日))

イ 上映時間 平日…午後2時40分

土・日・祝日・小中学校長期休み等…午前10時50分と午後2時40分

※「L5」については、期間中1日6回投影

ウ 観覧者 28,312人

(4) 学習投影

ア 内容 小中学校、幼稚園・保育園の団体観覧用の番組

作品 小・中学校向け「月の形と動き」
小・中学校向け「星の動き（夏／冬）」
小・中学校向け「太陽と惑星」
小・中学校向け「太陽系の仲間たち」
小・中学校向け「月の形と動き」
幼児向け「うちゅうの七にんきょうだい」
幼児向け「ピーターパンの冒険」

イ 投影時間 事前に利用団体と調整し、主に平日午前中に投影

ウ 観覧者 10,581人

(5) プラネタリウム夜間投影

小中学校の春休み・夏休み・冬休み期間の毎週金曜日に限り、午後6時から
プラネタリウムを投影した。投影回数8回、観覧者計73人。

(6) 出版物

プラネタリウム・全天周映画案内A5パンフレット、B2ポスター…番組別に作成

5 その他

(1) 情報サービスコーナー

ビデオライブラリーの作品年間視聴本数 計 1,312本

CD-ROM文庫のソフト年間閲覧本数 計 464本

(2) 収蔵資料の「ミニ展示」

特別展・企画展の開催期間外に、特別展示室前で資料の展示を行った。

「春ですよ、タンポポは咲きましたか?」、「運ばれてきた黒曜石」

6 学校と博物館の連携を進める研究会

(1)趣 旨 学校教育の場で、児童・生徒の多様な学習要求に応じた幅広い学習活動充実のために、博物館の効率的かつ積極的な利用を図り、博物館の持っている機能を十分に生かす、学校と博物館の連携のあり方を研究・協議する機関。

(2)委員構成 5名(市立小学校教諭)、3名(市立中学校教諭)の計8名

(3)任 期 2年(平成12年7月1日～平成14年6月30日)

(4)活動状況 13年度は3回開催され、3月31日に刊行した「博物館へ行こう～先生と子どものための博物館ガイド」の検討を行った。

7 広報・出版

(1) 刊行物

- ア 特別展・企画展のパンフレット・ポスター等 …各4種（前掲）
- イ 収蔵品展のパンフレット・ポスター …各1種（前掲）
- ウ プラネタリウム及び全天周映画案内パンフレット・ポスター …計6種（前掲）
- エ 博物館NEWS（Vol.22～Vol.25）
- オ 特別展図録
「星の測量～角度をはかり、位置をもとめる～」
「“道”再発見―道の役割とその移りかわり―」
- カ 報告書等
「研究報告第11集」 「大島・上矢部・田名・上溝・当麻地区の民俗」
「博物館へ行こう―先生と子どものための博物館ガイド―」

(2) 有償刊行物一覧（平成14年3月末現在）

有償刊行物については、博物館と市役所情報公開室で販売。

◎特別展・企画展図録

書名	発行年月	販売価格
郷土の巨匠・岩橋英遠展	7・11	1,000
江南の至宝	8・2	1,300
相模原の昆虫～身近にいる小さな昆虫たち～	8・4	350
日本の宇宙開発	8・11	1,000
絵図から地形図へ～近代地形図の誕生と発展～	9・7	2,550
太陽系～母なる太陽とその家族を巡る～	9・11	700
相模原が海だったころ	10・7	800
浮世絵名品展	10・9	1,800
水生昆虫の世界～水の中の小さな虫たち～	11・7	1,200
描かれた農耕の世界	11・9	1,500
花を描き、花を知る～植物画の魅力～	12・7	1,200
幕末・維新の相模原～村の殿様 旗本藤澤次謙と村人たち～	12・10	1,500
星の測量～角度をはかり、位置をもとめる～	13・7	700
“道”再発見―道の役割とその移りかわり―	13・10	1,500

◎ 調査報告書等

書名	発行年月	販売価格
研究報告第7集 1998	10・3	800
研究報告第8集 1999	11・3	600
研究報告第9集 2000	12・3	550
研究報告第10集 2001	13・3	850
研究報告第11集 2002	14・3	850
資料集 順席（慶応三年）	10・3	800
古山の生業と伝承	10・3	600
大島地区の自然と文化	11・3	900
相模原市作成の地図	11・3	1,000
一般図・主題図・地形図	12・3	1,200
桐生亮コレクション標本目録	13・3	1,150
大島・上矢部・田名・上溝・当麻地区の民俗	14・3	600

◎ 展示解説書

書名	発行年月	販売価格
相模原市立博物館・常設展示解説書	9・1	1,000

(3) 他の機関等との関連

ア ポスター掲示

前述の各ポスターを、市各機関・近隣博物館へ掲示を行った。

イ 記事提供

広報さがみはら、相模原記者クラブ、その他新聞・雑誌、他博物館等へ記事・ポスターを提供した。

ウ 放送番組ロケ

博物館を紹介する、テレビ・ラジオ番組の取材に応じた。

主な番組内容 テレビ神奈川…「HAMMA 大國」

ケーブルテレビJ-COM…「わいわい相模原」

8 博物館実務実習

学芸員資格習得のための実習として、8月下旬から20名を受け入れた。分野(人数)は、考古(2)・歴史(3)・民俗(4)・地質(2)・動物(3)・植物(3)・天文(3)、期間は2週間とした。

9 博物館職員の講師派遣

市内各公民館・小中学校等で実施される講座・研修等について、依頼に基づき博物館職員を講師として派遣した。

原則として、実施日順に、演題、依頼先、月日、場所、担当者を記した。

- ・「相模原市の歴史」、職員研修室、4月3日、けやき会館、草薙由美
- ・「東海道ルネッサンス事業打ち合わせ」、4月19日ほか、県立歴史博物館、加藤隆志
- ・「近世の海老名」、4月24日、海老名市文化会館、神崎彰利
- ・「県博物館協会部会ほか」、4月24日ほか、県立歴史博物館、加藤隆志
- ・「相武国境境川をめぐって」、4月28日、法政大学多摩キャンパス、神崎彰利
- ・総合学習センター教科等指導講座「相模原で見られる星空」、5月15日、当館、杉崎久子
- ・「博物館見学実習」、東京家政学院大学、5月19日、当館、加藤隆志
- ・「星と地球」、上溝小学校、5月23日、上溝小学校、杉崎久子
- ・「春の星座ほか」、鶴の台小学校、5月29日、鶴の台小学校、杉崎久子
- ・「生きものをかおう」、大野台小学校、5月30日、大野台小学校、守屋博文
- ・「富士山の噴火と相模原台地」、由野台中学校、6月2日、由野台中学校、金井憲一
- ・「相模原の地理・歴史」及び「博物館の利用の仕方」、由野台中学校、6月2日、由野台中学校、遠山正紀
- ・第5回常民文化研究講座「絵図資料と民具研究」、神奈川大学日本常民文化研究所、6月23日、神奈川大学横浜キャンパス、加藤隆志
- ・「相模台公民館環境講座」、相模台公民館、6月30日、相模台公民館、秋山幸也
- ・「星の動き、月の動き」、星が丘小学校、7月3日、星が丘小学校、杉崎久子
- ・「近世の愛川町」、7月4日、愛川町公民館、神崎彰利
- ・「星の動き」、橋本小学校、7月10日、橋本小学校、杉崎久子
- ・「星空観望会」、星が丘公民館、7月24日、千代田ふれあい広場、杉崎久子
- ・「歴史のひとつこま」、8月7日、図書館、神崎彰利
- ・「津久井の歴史」、8月14日、津久井文化福祉会館、神崎彰利
- ・「理科教育研修講座」、県立教育センター、8月22日、高田橋周辺ほか、金井憲一
- ・「自然を増やそう、境川をきれいに」、渕野辺小学校、9月14日、渕野辺小学校、守屋博文
- ・「田原の滝周辺の底生動物調査及び観察会」、9月29日、相模川ほか、守屋博文
- ・「博物館像と相模原台地の地理・歴史」、高相地区事務職員研修、10月4日、遠山正紀
- ・「歴史と伝承」、10月10日、中央公民館、神崎彰利
- ・「月と太陽」、大野台中央小学校、10月12日、大野台中央小学校、杉崎久子
- ・「相模川支流串川河原及び周辺の林の動植物の生態についてのフィールドワーク」、城山町教職員研修会運営委員、10月17日、秋山幸也
- ・「環境の変化による生き物の変遷、ほか」、大野台小学校、10月19日、守屋博文
- ・「博物館学講座」、玉川大学継続学習センター、10月27日、当館、杉本芳秋、加藤隆志
- ・「親子自然観察会」、(財)相模原市みどりの協会、10月28日、横山丘陵、秋山幸也
- ・「大和市学をめざして」、10月30日、大和市中心公民館、神崎彰利
- ・「近世相模の街道について」、11月7日、海老名市文化会館、神崎彰利

- ・「大野の昔を知ろう」、谷口台小学校、11月14日、谷口台小学校、遠山正紀
- ・「近世の法令文書」、12月8日、図書館、神崎彰利
- ・「相模国の歴史地名」、1月19日、大和市役所、神崎彰利
- ・「星空観望会」、大沼公民館、1月22日、大沼公民館、杉本芳秋、杉崎久子
- ・「近世の文書を読む(1)」、1月26日、津久井町公民館、神崎彰利
- ・「縄文時代～弥生時代の人々の暮らし」、上溝小学校、1月31日、上溝小学校、木村衡
- ・「相模原台地の成り立ち」、千葉県立中央博物館友の会、2月3日、当館、金井憲一
- ・「近世の文書を読む(2)」、2月9日、津久井町公民館、神崎彰利
- ・「星空観望会」、星が丘公民館、2月19日、星が丘小学校校庭、杉本芳秋、杉崎久子
- ・「冬の星座観察会」、東林公民館、2月21日、東林小学校校庭、杉本芳秋、杉崎久子
- ・「アルコウ、勝坂の野や林」、文化財保護室、3月3日、勝坂遺跡、秋山幸也
- ・「学校教育と連携した博物館活用プログラムの開発」、3月20日、県立歴史博物館、加藤隆志
- ・「相模川を知ろう」、座間市公民館、3月24日、相模川ほか、守屋博文

※その他、神崎彰利について

(1)相模原市あじさい大学「歴史(1)、(4)」、5月～2月の毎週木曜日実施、あじさい会館

(2)あじさい大学OB会、5月～3月の奇数月に実施、市立図書館

Ⅲ 資料管理

- 1 14年3月31日現在の資料点数は、以下のとおり。

2 資料収集・保存

分野	内容
考古資料	収蔵資料台帳の作成とその検索システムに関するデータ入力作業
歴史資料	新規収集資料を含む、未整理資料の整理
民俗資料	市域の民俗資料の収集、未整理資料の整理及びカード作成
地理資料	市域の生活資料の収集・整理、新聞資料の合本
動物資料	収集及び収蔵資料の整理
植物資料	植物資料の収集及び標本の作製・整理
地質資料	岩石・化石資料の収集 寄贈予定資料（火山灰の文献、研究資料）の整理・データ化
天文資料	星雲・星団・太陽画像の撮影 インターネットによる公開天文台ネットワーク、国立天文台等からの画像収集
情報資料	他博物館より送付されたパンフレット等の閲覧用への整理

3 13年度購入資料

資料名	内 容
歴史資料	「史料綜覧」、「相模国村明細帳集成」
学術雑誌	考古学ジャーナル・月刊むし・天文月報等の専門雑誌23種 (主に市民研究室で開架)
新刊書籍及びビデオソフト等	市民研究室・情報サービスコーナーへの配架用として、新刊書を中心とした書籍87冊、ビデオ5本、CD-ROM1本を購入した。

4 燻蒸の実施

受入れ資料の燻蒸を7月及び1月に実施した。

5 資料の特別利用

平成13年度の資料特別利用（館外貸出等）について、原則として、日付（期間）順に、資料名、利用種別、期間、申請者、目的の順に記した。

- ・相模川河原写真、館外貸出、4月4日～4月30日、民間、会報掲載
- ・相州東郡渋谷庄当麻郷野帳、撮影、4月15日、市広聴広報課、ビデオ広報取材
- ・礫による相模川地質模型、館外貸出、6月2日～7月22日、民間、展示
- ・相模原付近36ヶ村入会絵図写真、館外貸出、6月6日～6月30日、海老名市、市史編さん
- ・ボーリング資料、閲覧、7月4日、個人、研究

- ・高座郡長訓示事項、撮影、8月21日、大和市、市史編さん
- ・黒板（石板）、館外貸出、8月30日～11月30日、海老名市温故館、企画展示
- ・淵野辺東小ボーリング資料、館外貸出、9月19日～10月25日、淵野辺東小学校、学習教材
- ・中村遺跡出土資料80点、館外貸出、9月19日～11月26日、千葉県立房総風土記の丘、企画展示
- ・子ども急増びんぼう白書ほか、館外貸出、9月28日～12月7日、新宿歴史博物館、企画展示
- ・下中丸遺跡出土縄文土器、撮影、10月18日、女子美術大学、研究
- ・特別展ポスター3点、館外貸出、10月31日～2月28日、群馬県立自然史博物館、企画展示
- ・足踏み脱穀機ほか、館外貸出、11月11日、市農協青壮年部、農業まつり出展
- ・館外観写真5点、館外貸出、11月7日～12月7日、市国民健康保険課、神奈川の国保掲載
- ・道祖神、撮影、11月21日、個人、調査
- ・糸取り関係写真、撮影、12月11日、市総合学習センター、郷土学習教材ビデオ制作
- ・道祖神、撮影、12月14日、個人、調査
- ・木造一遍上人立像ほか写真、館外貸出、1月10日～2月10日、市文化財保護室、
「相模原の文化財」パンフレット作成
- ・炭火アイロンほか、館外貸出ほか、1月12日、国立教育政策研究所、コンテンツ開発
- ・人物風俗図写真、館外貸出、2月15日～3月10日、町田市立博物館、図録掲載
- ・下溝中丸遺跡出土土器、館外貸出、2月17日、市文化財保護室、講座教材
- ・当麻下溝遺跡群出土土器、撮影、3月1日、民間、記念誌掲載
- ・順席写真、館外貸出、3月12日～3月19日、市文化財保護室、報道機関写真提供
- ・航空写真23冊、館外貸出、3月26日～（6月26日）、市資産税課、調査
- ・大野村旧村役場資料ほか、撮影、3月23日、個人、調査

IV 調査研究

調査分野 及び調査者	内 容
考古資料の調査 木村 衡	境川流域における旧石器時代遺跡発掘調査資料の再検討 公共財としての遺跡、遺物の経済学的研究
歴史資料の調査 草薙 由美	市域近世村落を中心とした古文書等歴史資料調査
民俗資料の調査 加藤 隆志	特別展開催に伴う資料調査 脱穀調製具をはじめとした農具に関する調査
地理資料の調査 遠山 正紀	生活資料の分類及び収集、展示に関する調査 相模大野駅周辺の景観調査
動物資料の調査 守屋 博文	相模川水系水生昆虫生息調査…生息状況把握と二次資料化 昆虫生息調査…市域の昆虫類生息状況調査

植物資料の調査 秋山 幸也	市内における高等植物の分布状況の調査 市内及び周辺地域の緑地の植生構造調査
地質資料の調査 金井 憲一	相模川流域の露頭調査と写真撮影及び河川礫・岩石調査 薄片資料の製作
天文資料の調査 杉本 芳秋 杉崎 久子 梶浦 唯史	カシオペア座D O星の光電測光観測 しし座流星群の観測

相模原市立博物館

発行：平成14年4月1日

住所：〒229-0021 相模原市高根3-1-15

TEL：042-750-8030 FAX：042-750-8061

<http://www.remus.dti.ne.jp/~sagami/index.htm>